

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公表番号】特表 2005-514497 (P2005-514497A)

【公表日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)

【年通号数】公開・登録公報 2005-019

【出願番号】特願 2003-560063 (P2003-560063)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/08 (2006.01)

C 0 8 F 2/34 (2006.01)

C 0 8 F 2/44 (2006.01)

C 0 8 F 210/16 (2006.01)

C 0 8 J 3/24 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/13 (2006.01)

C 0 8 K 5/14 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/08

C 0 8 F 2/34

C 0 8 F 2/44 A

C 0 8 F 210/16

C 0 8 J 3/24 C E S Z

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 5/13

C 0 8 K 5/14

C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加硫弾性コポリマーと熱可塑性ポリマーのブレンドを含み、

ここで、当該加硫弾性コポリマーは、ムーニー粘度 (ML (1 + 4, 125)) が 80 乃至 450 である気相弾性コポリマーの動的加硫によって生じるものであり、さらに、当該加硫弾性コポリマー及び当該熱可塑性ポリマーはそれらの中に分散したカーボンブラックを有する、

熱可塑性エラストマー組成物。

【請求項 2】

前記弾性コポリマーが、ゴム 100 重量部に対して 10 乃至 40 重量部のカーボンブラックを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記ブレンドが、前記弾性コポリマーと熱可塑性ポリマーの総重量に基づいて、25 乃至 90 重量パーセントの弾性コポリマー及び 10 乃至 80 重量 % の熱可塑性ポリマーのブレ

ンドを含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記ブレンドが、溶液重合又なスラリー重合弾性コポリマーをさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記気相弾性コポリマー及び前記溶液重合又はスラリー重合弾性コポリマーが、10乃至90重量部の当該気相弾性コポリマー及び90乃至10重量部の当該溶液重合弾性コポリマーを含む弾性コポリマー成分を形成する、請求項 4 に記載の組成物。